



本はともだち



No. 17

(2023.3.1)

八木南小学校

長崎小学校

Book is Friends

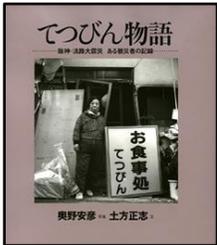
ブックトーク
あ・れ・こ・れ

わす きたい きおく
忘れたい記憶、忘れられない記憶、忘れてはいけない記憶。
テーマは『あの日のこと』です。



『うみが みえます』10年ぶりに新しい船で漁にでた父さん。
主人公のひろとが「はやくかえてこーい!」と叫ぶと、ひろとの
知らない町とその町の人たちが目の前に現れた。それは10年前に
つなみにさらわれた兄ちゃんの町だった。

〔みやもと ただお 作・絵 文研出版 刊〕



『てつびん物語—阪神・淡路大震災 ある被災者の記録—』1995
年1月17日午前5時46分。強烈なたて揺れとともに起こった阪
神・淡路大震災。がれきの町のなか、ななめにかたむいた建物の下
に看板<お食事処 てつびん>が落ちていました。

〔奥野 安彦 写真 土方 正志 文 偕成社 刊〕



『きみは「3.11」を...? 東日本大震災から10年後
の物語』 「あの日」から10年。そっとより添って読んでくださ
い。そして自分ではない誰かの悲しみや願いに耳を傾けてくださ
い。〔細野 不二彦、平塚 真一郎、井出 明 著 河北新報社 協力
小学館 刊〕

NDC (日本十進分類法) をおぼえよう

6 類 の 巻	
60 産業	65 林業
61 農業	66 水産業
62 園芸	67 商業・貿易
63 養蚕	68 交通・輸送
64 畜産	69 通信・放送



いのちを
まもるた
めに

『きずなを結ぶ震災学習列車
三陸鉄道・未来へ』

掘米 薫 文 偕成出版 刊

『あさになったので
まどをあけますよ』

荒井 良二 著 偕成社 刊

200字 de 名作



めい さく



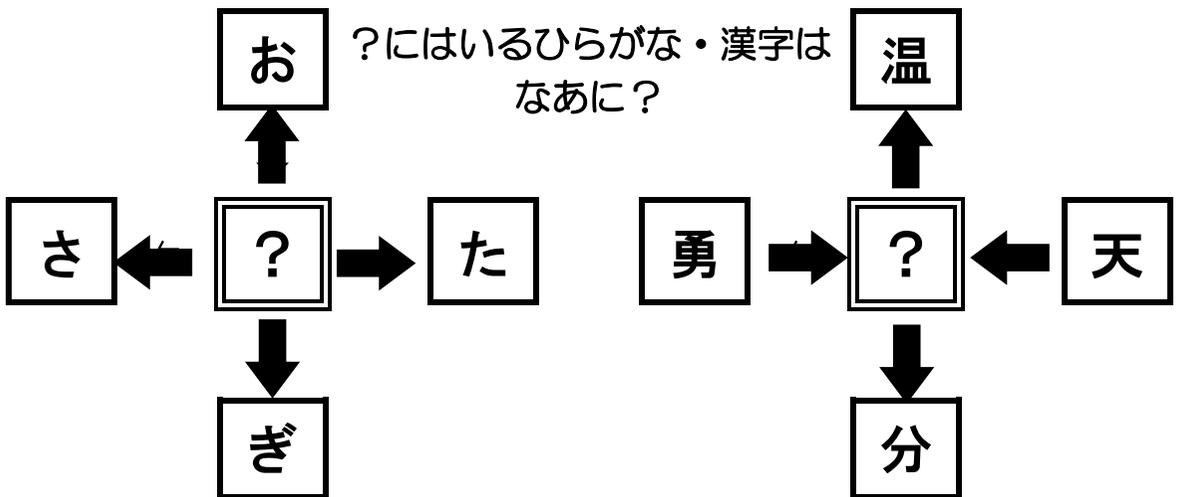
まどをあけたその先に見える景色。いつもと変わらない日常の始まり。そんな中に生きる喜びがあるということを、清々しい絵で描いています。2011年、東日本大震災が起こった年にこの絵本は刊行されました。著者の荒井さんは、ボランティアで何度も被災地を訪れ、どうしてもこの年に絵本を出したいと思ったそうです。著者の思いが詰まった美しい絵本です。



ことばであそぼう



●●●● ことばにしてみよう！ ●●●●



※答えは図書館のカウンターにはってあるので見に来てね！

〔編集後記〕阪神・淡路大震災から28年、東日本大震災から12年。皆さんは、「あの日のこと」を知っていますか？日本は、世界にくらべて自然災害が多い国です。あの日何が起こったのか、そのことを知り、あの日の教訓を私たちの未来にどう活かすのか考えてみませんか。さて、6年生のみなさん、卒業おめでとう。これから先色々なことあると思いますが、たまにはまどをあけて、ふうーと深呼吸をしてみてください。